

一度直営に戻し、再構築したい。

A close-up photograph of a fish lying on a bamboo mat. The fish is light-colored with dark spots and has its mouth open. Water droplets are falling around the fish, creating a sense of motion and spray. The background is blurred, showing more of the bamboo mat and water.

もどれ 渔獲量

町内企業紹介を拡充

ブラックバス対策を

清効果は。また木材乾燥の状況は。

丸川委員 町が管理する河川の防災、減災につながる治水対策全般について、考え方は当局 災害復旧で取り組んできたが、未着手箇所については区からの要望もある。倒木処理や土砂のしゅんせつについては、令和2年度から国的新事業があり、活用できないか検討する。

横山委員 鮎漁獲量 の推移と、漁獲量拡大 事業の内容は。 当局 平成20年は、
ヤナ場にかかる鮎は 約2万8千匹だったが
30年は約1千匹だった
ブラックバスによる食害も大きいことから、
駆除・削減目的に釣り大会を開催する。ブラックバスの生息数調査などは、継続が必要と思う。

当局 1月末現在39件の申請、うち町産材活用は14件。工事請負としては、2億9400万円ほどの経済効果があつた。

今年度、大型公共施設分の乾燥は終了したようであり、次年度は民間分を確保できるのではないか。

土木費 治水対策はどうする

笹原委員 家を建てたい若者たちが土地を探せない現状があるのではないか。対策は。
当 局 個人の土地を探して家を建てたい方への支援などを考えてみたい。

教育費

給食費を含めた保護者負担の軽減を

金田委員 給食費の推移は。

当 局 小学校260円、中学校304円で20年ほど値上げしていない。

金田委員 現在及び将来の不安定要素が危惧される。野菜等の食材が高騰した場合の対策は。

当 局 今後の社会情勢を注視していく。給食についても、安全安心の給食を提供できる

金田委員 紅花教育の充実を今までの評価は。
当局 地域の伝統文化を学ぶ、ふるさと学習の効果がある。給食に若菜、紅花の乱花を使い、食育にもつながっている。
金田委員 学校と地域のつながりは大事。さらに充実していくため、事業費を増やしてもよいのでは。
当局 堆肥の支援、摘み取り協力等、地域の関係者の協力を得て実施している。予算化の必要も出てくれば検討する。
横山委員 ※龍門図書館の管理方針と実情は。
当局 管理会に清掃や除雪などを委託している。カビ対策、管理活用を考える必要があ

り、管理方法は瑞龍院と相談しながら検討したい。山形大学の調査から貴重な本があることが分かりつつあり、カビ除去視点での実験も行った。

横山委員 貴重な蔵書があれば指定文化財への意向はあるか。

当局 蔵書については、専門家により評価が異なる。まずは保存に取り組みたい。





日本の紅（あか）の原点